

Relationship

<http://art-c.keio.ac.jp/-/rwwg1>

トークセッション1

アートと社会のつなぎかた：動き出す日本の文化資源

キー・スピーチ

太下義之（三菱UFJリサーチ&コンサルティング 芸術・文化政策センター 主席研究員/センター長）

熊倉純子（東京芸術大学音楽環境創造科教授）

モデレーター

渡部葉子（慶應義塾大学アート・センター 教授）

アーカイヴを語る時、保存・保管の機能がその中核として捉えられてきましたが、アーカイヴは社会化しなければ、本来の意味はなさないと言えます。いまや、保存・保管を超えた、より積極的な働きかけをするアーカイヴ活動がもためられていると言ってもよいでしょう。このような問題意識をもちながら、アートと社会の関係を考察しつつ、そこで大学の果たすことができる役割——文化資源に積極的に働きかけ、社会での活用を促す役割を果たす可能性——をめぐり、文化政策に深く関わっている太下義之氏、熊倉純子氏を迎え、各々の立場での実践を踏まえたキー・スピーチとディスカッションを行います。

太下義之「継承と創造のためのアーカイブ政策」

熊倉純子「大学と地域の連携：取手アートプロジェクトの事例から」

日時・場所

2015年2月4日 [水] 19:00—

慶應義塾大学 三田キャンパス 東館 8F ホール 参加無料 事前申込み不要

108-8345 東京都港区三田2-15-45 JR 田町駅・地下鉄三田駅より徒歩8分

お問合せ

慶應義塾大学アート・センター tel. 03-5427-1621 ac-am@adst.keio.ac.jp

アート・アーカイヴ・マネジメントWG シーズンI

Relationship

<http://art-c.keio.ac.jp/-/rwwg>

展覧会の記録や作品制作の記録など、アートに関する資料の「アーカイヴ」を構築し活用することは、美術館などの公的な文化施設だけではなく、画廊やNPOなど、アートに関わる実務家たちの重大な関心事であり、様々な規模でのアーカイヴ設置が進められています。本プロジェクトでは、「マネジメント」という切り口からアーカイヴの社会的・文化的意義や効果に関する考察や長期的運用を可能にする方法の検討を行います。

トークセッション1

アートと社会のつなぎかた：動き出す日本の文化資源

熊倉純子（東京芸術大学）× 太下義之（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）

2015年2月4日（水）19:00～ 慶應義塾大学 三田キャンパス 東館8Fホール

トークセッション2

パフォーマンスアーカイヴの現在：国際連携をもとめて

副島博彦（立教大学）× 溝端俊夫（大野一雄舞踏研究所）× 森下隆（土方巽アーカイヴ）

2015年2月27日（金）18:30（予定）～ 慶應義塾大学 三田キャンパス

トークセッション3

アーティストとアーカイヴ^[仮]

2015年3月7日（土）慶應義塾大学 三田キャンパス 東館6F G-sec Lab

河口龍夫（現代美術作家）× 横田茂（横田茂ギャラリー）× 渡部葉子（アート・センター）

お問い合わせ

慶應義塾大学アート・センター tel. 03-5427-1621 ac-am@adst.keio.ac.jp